

2024年度

系横断R&Dプロジェクト募集要項

2023年12月

筑波大学
国際産学連携本部

2024年度 系横断R&Dプロジェクト 募集要項

1 本プロジェクトの目的

筑波大学の特徴である学際融合性を活かすことで、独創的イノベーションを創成し、民間企業との共同研究、知的財産の創出、ベンチャー起業など、研究成果の社会実装を加速することを目的とする。

2 募集する研究課題の要件

「他系の」「異なる分野の研究」との融合による新たな研究であることを前提とし、次の各項を満たす研究課題を対象とする。代表研究者には若手教員・研究員（40歳未満）が就くことを推奨する。

- (1) 本学の常勤教員または常勤研究員がプロジェクト代表研究者となる研究課題であること。
- (2) 異なる系に属する教員・研究員が連携する研究課題であること。
- (3) 社会実装を目指した産学連携につながる研究課題であること。

3 研究支援

- (1) 【最大で100万円】×【系の数】の研究費を支援する。
例) 3つの系の教員が協同する研究課題には、最大300万円を支援する。
但し、採択数などの都合から支援金額を調整する場合がある。
- (2) 国際産学連携本部は、イベント等による研究発表の機会を提供する。
- (3) 知的財産の創造に向けた支援を行う（知財相談会）。

4 支援期間

2024年4月～2025年3月

5 研究費等に関する補足事項

支援する研究費は2024年度予算として配分する。

6 研究課題の採択予定数

5～10件程度

7 応募及び選考について

- (1) 応募方法

所定の申請書（別紙様式1：下記URLからダウンロード可）に記載のうえ、電子媒体で提出のこと。

国際産学連携本部ホームページ <https://www.sanrenhonbu.tsukuba.ac.jp>

・申請書提出期限：2024年1月12日（金）17：00

・提出先：担当エリア支援室（研究支援）等を經由のうえ

国際産学連携本部 系横断R&Dプロジェクト

E-mail：renkei-honbu@ilc.tsukuba.ac.jp

(2) 選考方法

第一次審査：書類審査

第二次審査：面接審査（第一次審査合格者を対象）

[面接審査]

- ・発表：プレゼンテーション7分、質疑8分
- ・場所：春日キャンパス高細精医療イノベーション棟（オンラインの可能性あり）
- ・日時：2024年2月28日（水）、時間の詳細は後日連絡

[面接審査の観点]

- ① 研究成果が企業との共同研究、ベンチャー起業、知財創生・移転に繋がる可能性
- ② 研究内容の独創性
- ③ 学際融合性（「他系の」「異なる分野の研究」との融合による新たな研究であるか）

8 成果の報告等

- (1) プロジェクトの代表研究者は、中間報告書(10月)、年度末に研究成果報告書を提出するとともに、成果報告会にて成果を発表すること。
- (2) 特許等の出願を積極的に行うこと。
- (3) 特許出願後に、成果の学外への公表を進め、民間企業との共同研究に結び付けること。

9 相談及び問い合わせ先

系横断のチームづくりに関する相談も承ります。

国際産学連携本部 系横断R&Dプロジェクト 河添、後藤、跡部、鶴田

E-mail：renkei-honbu@ilc.tsukuba.ac.jp Tel：内線 81624（鶴田）

(別紙様式1) 2024年度 系横断R&Dプロジェクト申請書

(※申請書は、全体で A4 用紙 5 枚以内に収めてください。)

申請者 (プロジェクト代表者氏名)
所属・職名

- 1 研究題目 (和文): (50 字以内)
研究題目 (英文): (25 words 以内)

2 プロジェクトの構成員 (適宜、欄を追加のこと)

プロジェクト代表研究者 (常勤教員・研究員)	
氏名	
所属	
職名	
電話番号	
e-mail	
2024年4月1日時点	<input type="checkbox"/> 40歳未満 <input type="checkbox"/> 40歳以上
参画研究者	
氏名	
所属	
職名 (または学年)	
電話番号	
e-mail	
参画研究者	
氏名	
所属	
職名 (または学年)	
電話番号	
e-mail	

3 課題の概要：(300字以内)

4 提案の内容(700字以内)

(系横断の学際的研究のポイント、参画研究者の役割を明記のこと)

5 技術の社会実装シナリオ

(1-1)共同研究、知財創出・移転の場合(想定する企業名、共同研究の内容等)(700字以内)

(1-2)ベンチャー起業の場合(想定する事業内容、ビジネスモデル、顧客像等)(700字以内)

(2)本プロジェクト終了時の社会実装に関する達成目標(300字程度)

(例えば、共同研究に向けたA社との協議着手、発明〇件等、具体的に記載)

6 プロジェクト成果の経済的・社会的インパクト

7 プロジェクトの実施に必要な設備

(本プロジェクトで購入する設備名及び必要理由について記載し、下記の備品欄にも計上すること。)

8 プロジェクトの実施に必要な経費の見込み

(プロジェクトの実施に必要な経費の総額と内訳：備品、消耗品、旅費、謝金、その他の別について具体的に記入)

予算費目	提案予算金額 (千円)	用途
備品		
消耗品		
旅費		
謝金		
その他		
合計		

9 その他 (審査の参考となる特記事項)